

## 令和5年度第3回半田市スポーツ推進審議会議事要旨

開催日時	令和5年12月21日（木）	14時00分～15時00分
開催場所	市役所4階 庁議室	
会議次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 【議題】</p> <p>(1)スポーツ実施率の向上に向けた取り組みについて資料1</p> <p>①「する」「みる」「ささえる」ことを実現できる社会を目指すための新たな3つの視点</p> <p>②スポーツ実施率の状況</p> <p>③半田市年代別スポーツ実施率の状況について</p> <p>④スポーツイベント及び教室の開催状況について</p> <p>⑤今後の取り組み（案）について</p> <p>⑥今後、スポーツ推進審議会で検討を進めていきたいこと</p> <p>3. その他</p> <p>4. 閉会</p>	
出席委員 (欠席委員) ※敬称略	<p>(委員長) 加藤博吏</p> <p>(委員) 田中益生、池田智美、日置さと子、渡邊彩、近藤和昭、岩田洋子、磯貝雅代、増田学、村田旭、村松秀樹、竹内光、</p>	
事務局	教育部長、スポーツ課長、同課振興担当主査、同主事、学校教育課指導主事	
次 第	議事概要	
【議題】(1) スポーツ実施率 の向上に向けた 取り組みについ て	<p>(事務局)</p> <p>(1)スポーツ実施率の向上に向けた取り組みについて資料1に基づき以下のことを説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進審議会の設置目的</li> <li>・スポーツ推進計画と上位計画（スポーツ庁：スポーツ基本計画、半田市：総合計画）との関連性</li> </ul> <p>上記を踏まえ以下について説明</p>	

- ①「する」「みる」「ささえる」ことを実現できる社会を目指すための新たな 3 つの視点
- ②スポーツ実施率の状況
- ③半田市年代別スポーツ実施率の状況について
- ④スポーツイベント及び教室の開催状況について
- ⑤今後の取り組み（案）について
- ⑥今後、スポーツ推進審議会で検討を進めていきたいこと

（質疑）

（近藤委員）

はんだスポーツの日のイベントに多く参加できる状況を作るために、スポーツ協会の各競技団体になるべく大会などを入れないようにしてもらい、子どもたちにイベントへの参加を促すなど、スポーツ協会と連携を図ることを検討してみてもいいかと思います。

（村田委員）

高齢者のスポーツの状況ですと、老人クラブとして年に一回、愛知県の大会があり、そこでは 5 つの競技種目があり、市内の地区毎に分かれてすべて参加しています。大会自体は県内から多くの人が集まる大会です。ただし、市内の老人クラブの状況としては役員を担う方がおらず、昨年だけで 800 人の方が老人クラブを脱退しています。

（増田委員）

部活動改革に係る市内の活動団体や競技種目などが把握できるマップのようなものは作成する予定はありますか？

作成する場合、どのような団体を掲載する予定ですか？

（事務局）

生徒の受入可能団体についてマップは作成しませんが、ホームページに地区別で団体の一覧を公開する予定です。

スポーツ課が掲載する団体につきましては、総合型地域スポーツクラブ登録団体及びスポーツ協会加盟団体としています。

（村松委員）

過去のアンケート結果を基に事務局が 20 歳代のスポーツ実施率が低い要因の仮説として「今更、始める気になれない」と説明がありました

が、低い要因は「好きなスポーツが無い」や「今更・・・」というのではなく、始める気になれない方は一生やらないものです。ただし、スポーツが全てというわけではなく、文化的な活動もありますので、スポーツが全てという考え方はどうなのかなと感じます。

部活動改革に伴い中学生のスポーツ離れが見込まれると事務局は説明されましたが、個人的にはスポーツ離れが加速するとは思わないです。多くの子供たちが様々なスポーツにおいて活躍していることから、毎週のように表彰状を渡している事実もあります。今後、部活動は縮小していくこととなりますが、指導者を育成するチャンスだと考えています。今は、変革の過渡期にありますので、あきらめず継続していくことが大事だと思います。

(竹内委員)

子どもたちにはいろいろな経験をさせてあげて、その中から子どもたちが興味を持ってもらうような形を小学校では取り組んでいます。必ずしも「スポーツ」というわけではなく、体を動かしながら「こんなスポーツもあるのか」「こんなゲームもあるのか」という楽しみながらということに重きを置いています。

(磯貝委員)

50歳代の方で言いますと体の変わり始めということもあり、そういった方たちに健康づくりとして体操というのはリハビリも兼ねていますので、そこからスポーツに繋がっていくと良いと思います。40歳代の方たちについても同様のことが言えますが、仕事や家事などに取られる時間が多いことから、健康づくりという視点でも体操の実施につなげることは難しいと思います。

スポーツイベントの際は「健康づくり」を目的としたブースなどを設けて、健康づくりをアピールしていきたいと考えています。

(日置委員)

私はスポーツ推進審議会の委員でもあり、スポーツ推進委員として活動を行っています。スポーツ推進委員として、はんだシティマラソンの大会スタッフとして従事しているので、大会の準備から片付けまでを行う中で、

既存の大会及びイベント内容に追加するとなると、スタッフ数の問題もあります。ただ、加えるなら芝生広場などでグラウンド・ゴルフやコートがあるのでバスケットなどを導入してもいいかなと思います。

(田中委員)

普段、実施している内容を少し組み替えるだけで参加者数を大きく増やすことは可能です。実際に市内の少年野球では、普段なら練習を行っているところを「体験教室」と打ち出すことで、ほとんど同じ活動を行っていても、いつもより参加者が多いです。

また、スポーツ推進委員についてですが、スポット的に民間団体と行政とのスポーツに関するコーディネーターをいう役割もありますが、ニュースポーツの普及に努めなさいと言われていました。

成人のスポーツ実施率 65%を目指す中で、既存スポーツ種目だけでなく、新たな種目やニュースポーツで入り口を増やし、例えば高齢者においては体の動く範囲で実施できるスポーツなどを取り入れることで、実施率向上に繋がりますので地道に続けていくことが重要だと思います。

(池田委員)

村松委員と同意見で部活動が廃止となるからといって、スポーツ離れが加速するかと言ったらそうではないと感じています。チームに所属することだけがスポーツに携わるということではないです。

例えば、中学校の部活動が無い日では、中学生だけで集まり体を動かしている時間があります。そういった時間がすごく子どもたちにとっては重要ではないかなと感じます。また、小中学校の時に一つの種目ではなく様々な種目を体験することが、大人になってからどんなスポーツをやってみようかなという発想に繋がると思います。そのため、「チームに所属する」ことだけでなく、「子どもたちが自由に安全に体を動かせる場所」を増やしていくことも大切なことだと思います。

(渡邊委員)

20～30 歳代の保護者は子育てがあり、自分だけ体を動かしに行くことが困難なため、「子どもと一緒に体を動かす」という要素を含めると良い

	<p>きっかけ作りになると思います。ただ、小学生になってしまうとやはりどこかのクラブに加入することが多いので、なかなか親御さんと一緒に体を動かすという機会が減り送迎のみになってしまうケースが多いです。また、小さいときからスポーツを経験してほしいと考えている親御さんが多く、体験教室など気軽に親子で参加できるものが増えるとスポーツ人口は増加すると思います。その体験教室では、高齢者も参加できる幅広い世代で一緒に体が動かせる内容もいいと思います。</p> <p>(岩田委員)</p> <p>私が指導しているバレーチームのことで言いますと、やはりスポーツを行っている・行っていた保護者が子供にスポーツを勧めてクラブに加入するというケースが多いです。そのため、否定するわけではないのですが、「はんだスポーツの日」ではニュースポーツ体験が多いのですが、ニュースポーツだけでなくバスケやバレーなどの競技についても親御さんが子供と一緒に体験できるコーナーを設けてもいいかなと思います。</p> <p>そういった競技性のある親子スポーツ体験を通じ、子どもから見て「お父さんのカッコいい姿を見てスポーツをやってみたい！」と思わせる内容もいいと思います。そのためには、スポーツクラブもスポーツ協会も頑張らなければいけないと感じます。</p> <p>(近藤委員)</p> <p>はんだスポーツの日イベントを前面に出してはんだシティマラソンを実施するということは、以前に実施したことがあります。</p> <p>その時はウォーキングとマラソンを同時に実施しましたが、歩く人と走る人の整理が困難であったため、やはりウォーキングとマラソンは別に実施することとなりました。</p>
その他	<p>(事務局)</p> <p>部活動改革の状況について下記のとおり説明</p> <p>①1月10日を目途に生徒受入団体一覧を市HPに公表</p> <p>②一覧表URLをQRコードにて新中学生説明会等で展開</p> <p>(学校教育課指導主事)</p>

	<p>部活動改革に係るリーフレットを作成し、11月に市内小中学生及び保護者に配布致し、市HPでも閲覧ができるようになっています。</p> <p>部活動改革は決して後向きなものではなく、前向きな取り組みだと思っています。これまで日本のスポーツ・文化芸術振興の中心は学校でありましたが、少子化を始めとする様々な課題もあり、持続可能なものでなくなりつつあります。そのため、子どもたちが実施したいスポーツや文化芸術活動ができるよう、我々が持続可能な形を整えていく必要があると考えています。</p>
閉会	<p>(事務局)</p> <p>次回は2月5日(月)14:00~になりますので、よろしくお願いいたします。</p>
	15:00(終了)